



津小だより

〒959-4402 阿賀町津川3234

R4.7.21

No.6

「どうして、人々は戦い続けるの？」



校長 高松 豊

7月の全校朝会では、「平和」について話をしました。終わりが見えないロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル発射事案、世界では苦しい日々を送る人たちがたくさんいます。新潟県上越市出身の児童文学作家小川未明さんの「野ばら」を紹介しながら、いのちの尊さや平和の大切さを考えました。（「野ばら」を一部省略して話しました。）

大きな国と、それよりはすこし小さな国が隣り合っていました。その二つの国の間には、なに
ごとも起こらず平和でありました。

ここは都から遠い、国境です。そこには両方の国から、ただ一人ずつの兵隊が派遣されて、国
境を定めた石碑を守っていました。

大きな国の兵士は老人でした。そうして、小さな国の兵士は青年でした。二人は、石碑が建た
っている右と左で番をしていました。

初め、顔を知り合わない間は、二人は敵か味方かというような感じがして、ろくろくものも言
いませんでした。けれど、いつしか二人は仲よしになってしまいました。

ちょうど、国境のところには、だれが植えたということもなく、一株の野ばらがしげっていま
した。青年は最初将棋を知りませんでした。けれど老人に、教えてもらい、二人は毎日向かい合
って将棋を差していました。

この青年も、老人も、正直で、親切でした。二人は一生懸命で、将棋盤の上で争っても、心は
打ち解けていました。小鳥はこずえの上で、おもしろそうに唄っていました。白いばらの花から
は、よい香りを送ってきました。

やがて冬が去って、また春となりました。ちょうどそのころ、この二つの国は、なにかの利益
問題から、戦争を始めました。そうしますと、これまで毎日、仲良く、暮らしていた二人は、敵、
味方の間柄になったのです。



「さあ、おまえさんと私は今日から敵きどうしになったのだ。私はこんなに老いぼれて
いても少佐だから、私の首をもってゆけば、あなたは出世ができる。だから殺してくだ
さい。」と、老人は言いました。

「なにを言われますか。どうして私とあなたとが敵どうしでしょう。戦争は
ずっと北の方でおこなわれています。私は、そこへ行って戦います。」と、
青年は言い残して、去ってしまいました。



国境には、ただ一人老人だけが残されました。いま戦争は、ずっと遠くでしているの
で、たとえ耳を澄ましても、鉄砲の音も聞こえなければ、黒い煙の影すら見えません。老人はその日か
ら、青年の身の上を心配しました。

ある日のこと、そこを旅人が通りました。老人は戦争について、どうなったかとたずねました。
すると旅人は、小さな国が負けて、その国の兵士はみんな殺され、戦争は終わったということ
を教えてくださいました。老人は、それなら青年も死んだのではないかと思います。そんなことを
気にかけてながら石碑に腰をかけて、うつむいていますと、いつしか、うとうとと居眠りをしました。

遠くの方から、大勢の人のくる気配がしました。見ると、一列の軍隊でした。馬に乗って
それを指揮するのは、あの青年でした。やがて老人の前を通るときに、青年は、だまって礼をして、
ばらの花をかいたのでした。

老人は、なにかものを言おうとすると目がさめました。それはまったく夢だったのです。それから一月ばかりしますと、野ばらが枯れてしまいました。その年の秋、老人は南の方へ暇をもらって帰りました。

外国では今、戦いをしている国があります。

戦争をしている国と国があります。

罪のないお年寄りや子どもたちがつらい生活をしている国があります。

子どもが、家の人にこんな質問をしたという新聞記事がありました。

「命より大事なものはないんじゃないの？ どうして、人々は戦い続けるの？」

もうすぐ七夕ですね。校長先生や世界中の人たちの願いは、これです。

『戦争が終わって、世界中のみんなが平和に幸せにくらすことができる日が早くきますように…』



夏季休業中の緊急電話対応について

全国的に新型コロナウイルス感染症の陽性者数が増加しています。夏季休業中に子どもたちがPCR検査を受けた場合は、通常時と同様に電話にて学校まで連絡をお願いします。

【夏季休業期間の平日】

- ・ 8時10分から16時40分までは、学校職員が対応します。夜間～早朝は、町役場に転送されますので、教育委員会職員に状況をお伝えください。

【夏季休業中の週休日】

- ・ 終日町役場に転送されますので、教育委員会職員に状況をお伝えください。

【お盆期間の閉庁日】

- ・ 8月12日から16日のお盆期間は、閉庁日です。週休日と同様となります。

〈津川小学校区 民生委員の皆様から地区子ども会を参観していただきました。〉

夏休み前の地区子ども会では、民生委員の皆様から子どもたちの様子を見ていただきました。その後の懇談会では、「あいさつ」や「自転車乗り」「地域での生活」についてご意見をいただくことができました。民生委員の皆様、ありがとうございました。



【新潟昭和様からペットボトル飲料水をいただきました】

津川小学校では、環境委員会が中心となってアルミ缶リサイクル活動に取り組んでいます。この活動を支えていただいている新潟昭和様から今年度も子どもたちのがんばりに対する称賛の意味を込めた「ペットボトル飲料水」をいただきました。1学期の終業式に一人1本ずつ持ち帰る予定です。新潟昭和様ありがとうございました。



7月に実施した資源回収の収益 69,069 円を阿賀町福祉協議会に寄付しました。社会貢献に役立てていただきます。ご協力ありがとうございました。

〈お知らせ〉

昨年度まで実施していた担任から児童への暑中見舞いハガキは、学期末業務見直しの観点により、今年度から行いません。ご理解の程よろしくお願いいたします。